

12/8 斗川小学校でおはなし会

読書への関心意欲高める

絵本とお話を楽しむ会「ウヒアハ」（小島瑩子会長）は、小中一貫三戸学園斗川小学校（後藤真樹子校長）の全校児童 21 名を対象におはなし会を行いました。おはなし会は、いろいろな絵本にふれることで読書に対する興味関心を高めることを目的として行っています。ウヒアハの会員 8 人は、昔話や外国のお話を語り、子どもたちが聞きやすいように大きな絵本を使って読み聞かせも行いました。小島会長は「子どもたちの聞く力に驚きました。絵本にふれる機会を増やすために、親子で一緒に読み聞かせをしてほしいです」と話しました。

絵本とお話を楽しむ会「ウヒアハ」では、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。【三戸町役場住民福祉課まで ☎ 20-1151】



お話を語るウヒアハの会員



記事を紹介する生徒

12/15 三戸高校生徒が「サンノワ」で町の魅力を発信

情報発信の手法を学ぶ

三戸高等学校未来探求コースの3年生は、五十嵐淳さん（サンノヘール代表、サンノワ編集長）を指導者として迎え、三戸郡の情報発信する情報媒体『サンノワ』に掲載する記事の作成に取り組みました。この取り組みは、生徒たちが実際に取材して記事を作成することで、出身地である三戸郡や二戸市の地域活性化についてアイデアを出したり、社会人としての能力を育成したりすることを目的に行われました。今回の発表会では、4班（田子班、三戸班、二戸班、南部班）に分かれて記事を紹介しました。三戸班は、松尾和彦町長から取材をした桜まつりマラソン大会を紹介し、城山公園でコスプレをして走るマラソン大会を提案しました。今回発表された記事は、ローカルメディア『サンノワ』（<https://sannowa-scoop.jp/>）に随時公開されます。

12/18 町内でナイトマーケットを開催

雪降るクリスマスイベントを楽しむ

地域団体のサンノヘール（五十嵐淳代表）とメトキベース（菅野雅浩さん）が主催するイベント「Christmas ナイトマーケット」がアップルドーム駐車場で開催されました。イベントでは、ヒーローショーやクリスマスソングの披露、キッチンカーの出店、スープの振る舞いなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。また、クリスマスの装飾を施したトラック「アルパジョンサンタ号」も登場し、子どもたちや親子連れは大喜びで記念写真を撮影しました。

参加者は「ステージイベントを見たりサンタクロースと記念撮影したりして、楽しい思い出になりました。また開催してほしい」と笑顔で話しました。菅野さんは「寒い中でのイベントでしたが、子どもたちの笑顔を見て開催して良かったと感じています」と話しました。



「アルパジョンサンタ号」の登場

11/23 Enjoy が健康力アップ事業を実施

親子で楽しくスポーツ体験

さんのヘスポーツクラブ Enjoy (松原栄子代表理事) は、子育てをしている親の体力向上を目的として「子育てママ・パパ交流スポーツ体験教室」を行いました(全12回)。教室には母子2組参加し、テニスやバドミントンを体験して、楽しく汗を流しました。

参加者は「親子で一緒にスポーツを楽しむことができ、とても楽しかったです」と感想を話しました。松原代表理事は「大人になるにつれて、運動する機会は減ってしまうので、ぜひクラブを利用して楽しんでいただきたいです」と話しました。



テニスをする参加者



顕彰を受けたさたさん(右から2番目)

12/11 福田さたさんが100歳迎える

町の浴場に行くことが元気の秘けつ

福田さたさんがめでたく100歳の誕生日を迎えました。さたさんと家族が役場を訪れ、松尾和彦町長から顕彰状と祝い金、記念品を受け取りました。

さたさんは大正12年12月10日に田子町で生まれ、昭和20年頃に夫の正男さんと結婚し、専業主婦として家庭を支えていました。さたさんは「お風呂が好きで、普段は歩いて老人福祉センターの浴場に行きます」と元気の秘けつについて話しました。

12/21 田島さんが「青森県褒賞」を受賞

子どもたちの健康管理に尽力

県は、勤労や地方自治、教育などの各分野で功績を残した個人・団体を顕彰する「青森県褒賞式」を開催しました。今年度は40人1団体が対象となり、町からは小中一貫三戸学園斗川小学校(後藤真樹子校長)で学校医として働く田島剛一さんが、長年子どもたちの保険管理に尽くし、学校保健衛生の向上発展に貢献したとして「青森県褒賞」を受賞しました。その功績を称えるために、役場で褒賞式を行い松尾和彦町長から褒状と銀杯が送られました。田島さんは「これからも子どもたちが健康でいられるよう尽くしていきたいです」と意気込みを話しました。



受賞した田島さん(中央)



新年会会場のようす

1/5 三戸町新年会

気持ち新たに、新年を迎える

三戸町民体育館で三戸町新年会を開催し、参加者約150人が新年を祝いました。松尾和彦町長は「少子高齢化や人口減少、景気低迷などの課題と向き合い、限られた財源の中で最大限の効果を発揮できるよう努めます」と新年の抱負を述べました。表彰式では、長年の功績を称え、大庭紀元さんが表彰を受けました(詳細は16ページ)。

1/8 第3回慶長教育長杯子供囲碁大会

いざ、本気の真剣勝負！

三戸町・田子町の子どもたちを対象に、第3回慶長教育長杯子供囲碁大会が中央公民館で行われました。大会では、Aクラス（15級以上）、Bクラス（18級）、Cクラス（1、2年生の児童、21級から19級）の3クラスに分かれて24人の子どもたちが参加しました。Aクラスでは高田悠央5段（八戸国立高専1年）、Bクラスでは奥山陽太18級（小中一貫三戸学園三戸小3年）、Cクラスでは2年生の部で高屋敷一登19級、1年生の部で奥山絢斗21級が優勝を勝ち取りました。Aクラスで優勝した高田5段は「小さい頃から囲碁をやっていて、今回が初めての優勝でうれしかったです。これからも囲碁を続けていきたい」と感想を話しました。



対局する子どもたち



勇壮な「纏振り」

1/8 三戸町消防団出初式

地域を守る消防団員の勇ましい姿

三戸町消防団（番屋博光団長）の出初式が町中心街で行われました。団員183人と車両19台が参加し、人員服装や機械器具の点検のほか、纏振り、分列行進を行いました。

町民体育館で行われた式典では、はしご乗りが披露されたほか、感謝状の贈呈や優良分団の表彰などが行われました。

観閲者の松尾和彦町長は「団員一人ひとりから住民の命を守る使命感を強く感じました。これからも町の安心安全のために尽力してほしい」と激励しました。

番屋団長は「近年は災害が激甚化しており、地域に根差した消防団の存在はより一層重要となっています。これからも、安心・安全なまちづくりに努めていきたい」と訓示を述べました。



伝統の「はしご乗り」



観閲のようす



式典に参加する団員

1/10 上田さんが東北大会優勝を報告

国スポ・全中に向けて意気込む

小中一貫三戸学園三戸中学校（島守詩子校長）の上田千聖さん（9年）がスピードスケート競技の東北大会で優勝したことを松尾和彦町長に報告するため、役場を訪れました。

上田さんは、500mで優勝、1000mで2位となり1月下旬に苫小牧市で開催される第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技、2月上旬に長野市で開催される第44回全国中学校スケート大会に青森県代表として出場します。上田さんは「高校生が出場する大会もありますが、入賞を目指して頑張ります」と意気込みを話しました。



東北大会で優勝した上田さん（中央）